

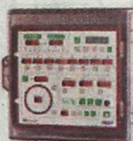
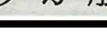
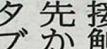
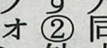
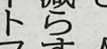
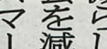
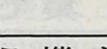
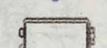
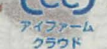
ポニー  
さらなる労力削減へ  
灌水NAVIがクラウド対応



▲クラウド画面サンプル



▲スマートフォンやタブレット端末



▲灌水コントローラ 灌水NAVI (本体)

測定データ (通信)

▲通信ボックス

クラウド対応により灌水管理を遠隔化し、より労力を削減

(株)ニッポニー埼玉県  
川口市川口2-13-1  
20・☎048(255)  
0066は、栽培管理  
の中でも作物の生育に大

きく関わる灌水作業のコロナ禍における接触機会の低減と労力削減をさらに進めるべく、灌水装置「灌水NAVI」を9月1日よりクラウド対応した。統合環境制御まで必要がない小規模、雨除けハウスの農家も遠隔でハウスの灌水管理が可能となる。

「灌水NAVI」は現場からの意見をもとに開発された、現場の声に寄り添った「灌水コントローラ」。同製品には日射比例灌水機能が搭載されており、日射に応じて自動で適切な灌水を行うことが可能。

これまでの灌水作業は各圃場を回り、その日の天気や経験をもとにタイ

ミングや灌水量を変え、バルブの開閉や灌水ポンプの操作が必要だったが、今回のクラウド対応により、日射比例灌水のできる灌水NAVIを使い自動化・遠隔管理することで、①灌水作業の労力を削減し、巡回の頻度を減らし、人同士の接触機会を減らす②外出先からスマートフォンやタブレット端末を使ってハウスの灌水状況を把握することが可能③炭酸ガスコントローラ、土壌水分センサー、温湿度センサーなど各コントローラと接続すれば温度・湿度・飽差・炭酸ガスのデータ収集、モニタリングができるため、環境測定器としても使用できる。また、灌水NAVIは最大8系統の灌水を管理でき、日射積算による自動灌水の他、設定した時刻に各系統を順次灌水する「タイム灌水モード」や外部機器からの信号を受けて各系統を順次灌水する「外部連動モード」に切り替えができる。さらに、1日に指定した回数だけ灌水に液肥を混入させて施肥を行うことができるなど多彩。

2020年9月15日(火) 農機新聞